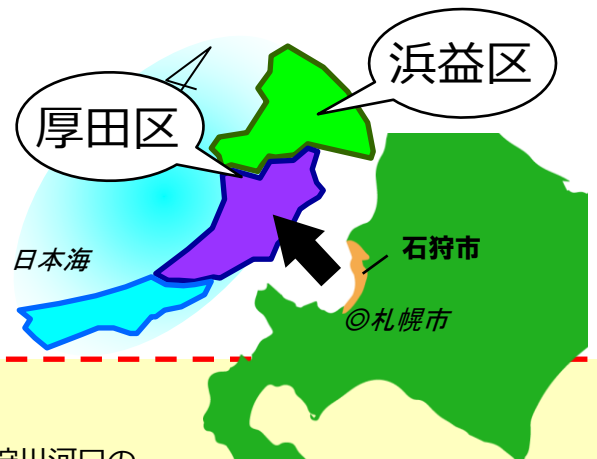


石狩市（厚田区・浜益区）地域おこし協力隊 募集要項（案）抜粋

北海道石狩市は、札幌市の北に隣接する人口約 5 万 8 千人の日本海に面した南北約 70 km に広がる鮭のふるさとです。石狩湾に注ぐ石狩川の河口、暑寒別天売焼尻国立公園などの雄大な自然環境の中にあり、北海道を代表する郷土料理「石狩鍋」は、まさに石狩市発祥です。



石狩市厚田区とは！？

石狩市厚田区は、札幌中心部から車で約 1 時間。石狩川河口の右岸から厚田区濃昼までの延長約 30 km の海岸に沿った地域です。平成 17 年の合併（石狩市・厚田村・浜益村の 1 市 2 村）以前は、厚田郡厚田村といい、旧石狩市と並び江戸時代からの古い歴史を持っています。幕末から明治にかけてはニシンの千石場所として栄え、その独特な風土から横綱・文豪など多くの著名人を輩出しています。また、日本海に沈みゆく夕日は絶景で「あつた港朝市」「恋人の聖地／厚田展望台」「厚田キャンプ場」に多くの観光客が訪れます。

1 次産業も盛んで、良質な肉質と安全性で全国から注目を集めているブランド豚「望来豚（もうらいとん）」や良好な気候・良質な水ではぐくまれた「厚田の米」のほか、朝市ではサケやニシン・シャコ・タコ・ハタハタなどが人気です。

厚田区では、合併を機に住民が主体となったまちづくりを進め、バス停までの送迎や除雪などの生活支援を行う NPO 法人の設立・住民が実行委員会を組織して全国的な展覧会を目指す厚田アクアレーン水彩画展の開催など、様々な地域おこしに取り組んでいます。

平成 30 年春には、道の駅石狩「あいロード厚田」がオープンし、道の駅を拠点とした交流人口の増加による地域の活性化に期待が寄せられているほか、令和 2 年 4 月に幼小中一貫の「厚田学園」が開校し、本市初のコミュニティ・スクール導入により「地域とともにある、特色ある学校づくり」が始まっています。**この厚田学園内には 0 歳から託児のできる「厚田保育園」が併設されており、安心して子育てをしながら、区内で活動することも可能です。**

一方、少子高齢化による影響から活動人口の減少や後継者不足などの課題もあり、厚田の将来を共に考え、共に歩む人材を必要としていることから、地域おこし協力隊を募集します。

石狩市浜益区とは！？

1 募集概要

(1) 募集人数

厚田区及び浜益区 各1名(18歳以上、年齢上限・国籍の制限なし)

(2) 活動内容

①「基本活動」、②「チーム活動」のほか、③「個々が目指す活動」の中から1つ選択し、地域おこし活動を実践していただきます

① 基本活動 → 住民と関わり互いを知る活動

- ◇ 地域行事(自治会、学校、祭り)等 コミュニティ活動
- ◇ 住民・地域団体と連携した地域振興活動
- ◇ 電子媒体等を活用した情報発信及び広報活動

② チーム活動 → 個の力を結集し、取り組む活動

【厚田区】

- ◇ 具体の目標を定め、チームとして展開する活動

③ 個々が目指す活動 → 自らの思い描いた夢を実践・実現する活動(下記から1つ選択)

【厚田区】

- (1) 「食」に関心が高く、新たなグルメや加工品の開発を実践できる人
- (2) 「子どもの教育」に関心が高く、学力やスポーツ向上の指導など、**子どもたちの活動を支援できる人**
- (3) 「道の駅」に関心が高く、道の駅を核とした地域おこしの取り組みができる人
- (4) 様々な**おもてなし**イベント(一例:婚活イベントなど)を企画・実践しながら地域活性化に向けた取り組みが実践できる人
- (5) **上記以外の活動内容**で、具体的な地域おこしの取り組みを持ち合わせ実践できる人